



滝澤 勝治氏

—くにたちを安全・安心な街へ—

—国立市防犯協会について教えてください。

昭和35年12月に、国立町防犯協会として設立されました。その後、市政施行にともない、名称を「国立市防犯協会」とし現在の形になりました。

市民の防犯思想を普及高揚し、自衛防犯の実を挙げ、立川警察署並びに立川地区防犯協会の行う防犯活動に協力するとともに会員相互の親睦と国立文教地区の環境維持育成を図ることを目的として活動しています。

市内を地域ごとに10の支部に分かれて活動しています。活動内容も支部ごと違いがあります。

—国立市防犯協会に入会したきっかけを教えてください。

昭和40年頃、知人に勧められて入会しました。以来、今日まで防犯協会員として防犯活動を行っています。

—防犯協会ではどのような活動をされてきましたか。

立川警察署生活安全課の指導を受けながら、以下のような防犯活動を行っています。

- 侵入盗犯撲滅のため、個別訪問をして外出時、鍵をかけるよう指導
- さくらフェスティバル、市民まつり等の会場で来場者に防犯意識高揚の宣伝活動。
- 各小学校の児童に安心・安全マップ作りの指導
- 青色防犯パトロールによる市内全域をパトロール
- 盆踊り会場の警備、パトロール
- 市主催の自転車クリーンキャンペーン等に参加、協力
- 振り込め詐欺撲滅活動



▲写真は平成28年4月2日、3日
第39回さくらフェスティバルにて
(写真中央が滝澤氏)

—国立市や国立市民の防犯意識はいかがですか？

市民の意識は低いと思います。これは、日本人みんなに当てはまることです。なぜなら、日本人は水、空気、安全は無料だと思っている民族だからです。

泥棒に入られた家の10軒中4軒は無施錠のため玄関から入られているのが現状です。

—国立市防犯協会独自の防犯対策などありますか。

最近、国立市専用の青色防犯パトカーが配置されました。そのおかげで、市内全域を頻繁に防犯パトロールを行うことができるようになりました。

—国立市防犯協会の課題等あれば教えてください。

人材不足です。会員は300人位いますが、ほとんど高齢者ばかりです。若人が大勢会員になり、高齢者とは違う角度で市民の安心安全を見守ってほしいと思います。

—最後に一言。

一人暮らしをしているみなさんに防犯対策を一つ伝授します！

家に帰宅した際、泥棒の気配を感じたとき、みなさんはどうしますか？

家に入る前に、ピンポンを鳴らしてみましよう！そうすれば、音に驚いた泥棒が逃げていき、鉢合わせすることはありません。



滝澤 勝治（たきざわ かつじ）氏

昭和11年7月生

平成42年 国立市防犯協会入会

平成10年 国立市防犯協会副会長

平成21年 国立市防犯協会会長

平成27年～現在 国立市防犯協会相談役